

第 54 回東京都消防操法大会

女性消防操法実施要領
女性消防操法審査要領

一般社団法人 東京都消防協会

操法実施要領

第 54 回 東京都消防操法大会

女性消防操法実施要領

操法は、「消防操法の基準」（昭和 47 年 5 月 11 日消防庁告示第 2 号）並びに「消防訓練礼式の基準」（昭和 40 年 7 月 31 日消防庁告示第 1 号）に準じ、次の要領により行う。

1 操法

- (1) 女性ポンプ操法とする。
- (2) 5 人操法とする。
- (3) 手びろめによる二重巻ホース 1 線延長とする。（ホース 3 本）
- (4) 標的を使用し、放水を行う。
- (5) 収納は、省略する。

2 機械

B-2 級小型ポンプ又は B-3 級小型ポンプ

3 水利の種類・位置

水利は貯水槽とし、ポンプ右側後方に設置する。

4 火点の標識

- (1) 有効放水測定装置付標的は、別図 1 のとおりとする。
- (2) 標的の設置位置は、別図 2 のとおりとする。

5 操法実施上の基本的事項

- (1) 操法は、安全を確保するとともに確実かつ迅速に行うこと。
- (2) 動作及び操作の区切りは、特に節度正しく行うこと。
- (3) 機械器具に精通するとともに、これの愛護に心掛けること。
- (4) 他の隊員の任務に属する操作を行ってはならない。ただし、延長ホース及び余裕ホースの修正については、通水前までに行うことができる。
- (5) 補助員を 1 名つけること。

6 出場隊等

(1) 出場隊資格

（一社）東京都消防協会会員である消防団員とする。

(2) 出場隊員等の指定上の留意事項

出場する消防団の団長は、操法大会出場団員（補欠を含む。）、旗手、会場管理係員、ホース収納係員、駐車場係員等の指定にあたっては、健康管理区分等に十分配慮し、任務遂行可能な者を指定すること。

(3) 服装等

保安帽、活動服（特別区消防団）又は作業服（多摩・島しょ地域消防団）、階級章（布製、ウェルダマー製）、運動靴、手袋及びゼッケン

7 各動作及び操作の原則事項

(1) 各隊員の移動

指揮者及び隊員の行動は、原則としてかけ足とし、動作および操作の区切りは、節度正しく行うこと。

ただし、物を持っているときは動作の流れに沿って良い。

(2) 方向変換の発進

方向を変えて発進するときは、後足をひきつけないものとする。

(3) 筒先を背負う要領

右手でノズル付近（回転部以外）を、左手は背負いひもの中央部を持ち、ノズルが右肩に元金具が左腰の近くに来るように背負うこと。

(4) 筒先をおろす要領

左手で筒先の取手近くのプレイパイプを握り、元金具を腹部から頭上へ移動し、背負いひものを右手で持って頭をくぐらせ、右手はノズル付近（回転部分以外）を持ち、左手はプレイパイプの中央に持ち替える（収納時は除く。）。

(5) ホースの搬送要領

ホースを搬送するときは、左脇に抱えて左手でめす金具が振れないように保持し搬送するものとする。

(6) ホースの展張要領

ホースを展張するときは、めす金具近く（ハカマ部分）を右足で押さえ、右手でおす金具を持ち、左手をホースに添え左足を1歩踏み出して右手で展張する。なお、ホース展張時は、展張方向を定めて体及び左足先を火点側に向ける。

(7) ホースと放口の結合

ホースと放口を結合する場合は、めす金具を両手で持って結合し、ハカマ部分を両手で引いて確認する。

(8) ホースの結合と離脱

ホースとホースを結合する場合は、おす金具がやや上を向くよう右足でホースを押さえ、これにめす金具部を両手で持って結合し、ハカマ部分を両手で引いて確認する。離脱する場合は、おす金具近くを左足で押さえ両手でめす金具部を持って離脱する。

(9) 筒先の結合と離脱

筒先を両手で持ち、左足でおす金具がやや上を向くようにホースを押さえ、おす金具に筒先を合わせて結合し、これを引いて確認する。筒先を離脱するには、右手でノズルを持ち、右足ぎわに筒先を立て、右足でホースをまたぎ、左足でホースを押さえ離脱する。

(10) 基本注水姿勢

右手は取手、左手はプレイパイプ上部を握り、握った右手を右腰に当てるようにし、標的のおおむね1～3m程度上方（標的注水中は除く。）に向けて放水するものとし、体形は左足を1歩前、膝をやや曲げると同時に体重を前方に置き、右足は放水の反動力を押さえるため、真っすぐ伸ばし前傾姿勢をとる。

(11) 注水補助姿勢

ホースの保持体形は、片足を一步踏み出し、膝をやや曲げると同時に体重を前方に置き、放水角度に影響を与えないように両手でホースを腰付近で保持した姿勢で注水補助を行う。

(12) 立った姿勢での操作

立った姿勢で操作を行うときは、足を横に開くか1歩前に踏み出した姿勢をとること。

(13) 身体・服装の確認要領

一斉動作などによって美化させることを意識することなく、身体各部、服装の異常の有無を各自が目視などの簡素な方法により、素早く確認すること。

7 その他の原則事項

(1) 前後左右とは、隊員が火点に向かって前進する方向を基準とする。

(2) 操法実施中「……にいたり」とは、足を横又は前に1歩踏み出した姿勢をいい、「……停止」とは、基本の姿勢を意味するものである。

(3) 凡 例

- ① …… 指揮者
- ② …… 1番員
- ③ …… 2番員
- ④ …… 3番員
- ⑤ …… 4番員
- 補 …… 補助者

8 操法実施上の統一事項

(1) 操法開始要領

係員の「出場準備」の合図により使用機械器具を定められた位置に配置し、待機指揮位置及び待機位置に「整列休め」の姿勢で待機する。（円滑な大会運営を図るため「出場準備」から「整列休め」までの時間は90秒を目安とする。）

(2) 一般

ア B-2級又はB-3級の小型ポンプに、呼称Ø75の吸管を使用する。

なお、改造等は認めない。

イ 操法を開始するまでは、吸水口のキャップを閉めておく（緩めておいてはならない。）。

ウ 吸管には、吸管枕木を取り付ける。

エ 放水停止線・伝令停止線での足の位置の例示は、別図3のとおりとする。

(3) 指揮者

ア 常に指揮に便利で、かつ隊員を掌握できる場所に位置すること。

イ 隊員の動作及び操作を十分に監視し、必要な命令及び指示を与えること。

ウ 号令は明瞭に、命令及び指示は簡明適切に行って隊員に徹底させること。

(4) 1番員

ア 筒先結合要領は、反転する方法でも、ホースを展張した体勢のまま結合し、一步前進する方法でも良い。

イ ②に「放水始め」と合図するときは、顔は前向きでも後ろ向きでも良いものとする。

ウ 余裕ホースを取り始める位置は、第3ホースの中央部（約10m）より先の位置から取り始めること。この場合、折り膝又はそれに準じた姿勢であること。

エ 筒先を振って余裕ホースを取ってはならない。

オ 余裕ホースを取るときは、後方を向いても良いものとする。

カ 排水操作後又は「排水やめ」の指示があったときは、ノズルを完全に閉じること。

(5) 2番員

ア ホースを展張した後、おす金具付近を折って、搬送ホースの近くに置く。

なお、置くときは、左手を添えても良いものとする。

イ 第1ホースの余裕ホースは、放口から約2mとする。

ウ 第1ホースの余裕ホースを取った後、めす金具を放口に結合するときは、ホ

ースを踏まなければ、またいでも良い。

エ ホースを展張したとき、ホースが左に流れたらホースに沿って前進し、ホースが右に流れたら真っすぐに進むこと。

オ ①から「放水始め」の合図を受ける位置は、第3結合部より前方とする。

カ 「ホースに沿って走る」とは、ホースからおおむね1mとし、ホースの流れに沿って進むことをいう。

キ ④の「おさめ」により待機位置に集まるとき、第1ホースが支障となる場合は、ホースを修正しても良いものとする。

(6) 3番員

よじれたホースを修正するときは、結合金具を引きずるような修正をしてはならない。

(7) 4番員

ア 送水ポンプ圧力は、0.4MPa を超えることがあってはならない。（「放水やめ」に伴う圧力上昇は、含まないものとする。）

イ 燃料コックが付いているポンプは、操法開始前に開けておいても良いものとする。

ウ エンジンを始動するときのスロットル位置は、起動適正位置であること。

(8) 補助員

ア 操作員の支障にならない位置で待機し、③が吸管投入後に吸管枕木を取り付ける。

イ 吸管枕木を取り付けた後は、「放水やめ」まで補助をすること。

ウ 補助する際、吸管及び吸管ひかえ網の修正をしてはならない。
また、吸管枕木取り付け後の吸管枕木の修正はしなくてよい。

9 実施項目別実施要領

実施項目	実施要領
待機	<p data-bbox="384 371 549 412">指揮者</p> <p data-bbox="416 472 1331 510">待機指揮位置で火点方向を向いて、整列休めの姿勢で待機する。</p> <p data-bbox="384 573 549 613">各隊員</p> <p data-bbox="416 674 1267 712">待機位置で火点方向を向いて、整列休めの姿勢で待機する。</p>
点呼	<p data-bbox="384 741 549 781">指揮者</p> <p data-bbox="384 842 1442 969">合図係員の合図により待機指揮位置で回れ右をし、各隊員に対して相対した後、「気をつけ」の号令をかけ隊員を基本の姿勢にし、「番号」と号令する。</p> <p data-bbox="384 1032 549 1072">各隊員</p> <p data-bbox="384 1133 1442 1218">①の「気をつけ」の号令で基本の姿勢をとり、「番号」の号令で①から順次各自の番号を呼唱する。</p>
開始報告	<p data-bbox="384 1236 549 1276">指揮者</p> <p data-bbox="384 1337 1442 1464">待機指揮位置で回れ右をし、報告受領者に挙手注目の敬礼を行い、「〇〇消防団、ただいまから女性ポンプ操法を開始します。」と報告し、挙手注目の敬礼を行った後、回れ右をする。</p> <p data-bbox="384 1527 549 1568">各隊員</p> <p data-bbox="416 1628 995 1682">①の開始報告中は、基本の姿勢で待つ。</p>

実施項目	実施要領
想定付与	<p data-bbox="384 286 549 331">指揮者</p> <p data-bbox="384 389 1444 472">「火点は前方の標的、水利はポンプ右側後方貯水槽、手びろめによる二重巻ホース1線延長」と号令する。</p> <p data-bbox="384 539 549 584">各隊員</p> <p data-bbox="416 640 895 678">基本の姿勢で①の想定を受ける。</p>
第1線延長	<p data-bbox="384 705 549 750">指揮者</p> <p data-bbox="384 808 1444 1178"> (1) 「操作始め」と号令し、全隊員の「よし」の合図後、回れ右をして、右足を引きつけることなく発進し、監視位置へ移動し右向け停止の要領で停止した後、各隊員の操作状況を監視する。 (2) ②が第1ホース延長後おす金具を地面に置くと同時に①に先行して火点に向かって前進し、火点指揮位置に停止して火点状況を確認（約3秒）した後、左に大きく向きを変えて操作の状況を監視し、②が注水補助位置に停止し「伝達終わり」の合図後、右に大きく向きを変えて火点状況を監視する。 </p> <p data-bbox="384 1234 549 1279">1番員</p> <p data-bbox="384 1337 1444 2011"> (1) ①の「操作始め」の号令で「よし」と合図し、折り膝の姿勢で筒先を取った後背負い、さらにホース（第3ホース）を取り、立ち上がるのと同時に左脇に抱え、第3ホース展張地点にいたり、第3ホースを展張する。次いで、筒先を両手で持って第3ホースと結合して確認し、火点に向って基本注水姿勢をとる。 (2) ②が第2ホースを延長し、第3ホースに結合して姿勢を正した時点で、②に対し「放水始め」と合図し、②の復唱を待つことなく、両手で筒先を持ったまま第3ホースを延長するとともに、筒先を抱え込み、おおむね5メートルの余裕ホースをとり（後方におおむね2メートルの注水補助ができる場所をつくる。）注水位置にいたり、基本注水姿勢をとる。 (3) 次に右手を筒先から離すことなく前方へ移動させ、同時に右腕でプレイパイプを脇腹に抱え込み、左手も筒先から離すことなくノズルを握り、徐々に開き、ノズル開放後左手をプレイパイプの先端、右手は取手へと離すことなく移動させて握り、基本注水姿勢をとる。 </p>

実施項目	実施要領
第1線 延長	<p data-bbox="400 297 563 338">2 番 員</p> <p data-bbox="400 383 1461 1059">(1) ③の「操作始め」の号令で「よし」と合図し、第1ホースを展張するのに便利な位置にホースのめす金具が手前になるように地面に立て、第1ホースを展張する。次いで、おす金具近くを折って第2ホースの近くに置き、めす金具を左手で持ち、右手でホースを持って約2メートルの余裕ホースをとった後、両手でめす金具を持って放口に結合し確認する。次いで折り膝又は折り膝に準じた姿勢で、第2ホースを左脇に抱え、右手で第1ホースのおす金具を持って展張ホースの左側に沿って第1ホースを延長し、第2結合位置にいたり、第1ホースのおす金具をその場に置き、第2ホースを展張し、おす金具近くを折って搬送に便利な位置に置き、第1ホースと第2ホースを結合して確認する。次いで第2ホースのおす金具を右手で持って第2ホースを延長し、第3結合位置にいたり、第2ホースのおす金具をその場に置き、第2ホースと第3ホースを結合し確認する。次いで火点の方向に向きを変え基本の姿勢をとる（両足かかるとが第3結合部より火点側）。次いで①の「放水始め」を復唱し、回れ右をして右足を引きつけることなく発進し、ホースの左側に沿ってポンプ方向に前進する。</p> <p data-bbox="400 1066 687 1099">(2) 放水開始の伝達</p> <p data-bbox="429 1111 1461 1339">伝令停止線内の位置で④に相対して停止し、右手を垂直に上げて「放水始め」と伝達し、④が「放水始め」と復唱し右手を下ろした後、右手を下ろし回れ右をして右足を引きつけることなく発進し、注水補助位置（③の左側1歩後方）で停止し「伝達終わり」と合図し、左足を1歩踏み出しホースを持って注水補助姿勢をとる。</p> <p data-bbox="400 1391 563 1431">3 番 員</p> <p data-bbox="400 1476 1461 1641">③の「操作始め」の号令で「よし」と合図し、右に大きく向きを変え、かけ足の要領で発進し、吸管結合補助位置付近（④の2歩後方の位置）の吸管を右足でまたぎ、両手で吸管を持ち、両足のふくらはぎで吸管をはさみ④の吸管結合の補助を行う。</p> <p data-bbox="400 1648 1461 1921">④の「よし」の合図で両手両足を吸管から離し、左足を軸に右足で吸管をまたぎながらストレーナー方向に向きを変えて発進し、ストレーナー付近の吸管左側にいたり、両手で吸管を持ち上げ、④の「よし」の合図で④と歩調を合わせて左足から3歩で吸管投入に便利な位置まで進み、吸管をその場に置き、吸管ひかえ綱を取り外して（ひかえ綱を固定しておく輪ゴムはそのまま藤かごに付けたままとする。）右脇に置き、</p>

実施項目	実施要領
<p>第1線 延長</p>	<p>右手でひかえ綱の根本と末端を持ち左手で吸管を持って立ち上がり、「よし」と合図して右足を半歩前に踏み出し、④の協力で吸管を静かに投入する。次いでひかえ綱の末端を右手に持ってポンプ方向に向きを変えて発進し、吸管左側に沿ってポンプ後部にいたり、ポンプの一部にもやい結び及び半結びで結着（末端を10センチメートルほど残して結着する。）する。次いで吸管接地部をまたぎ延長ホースの右側を通り火点方向に前進し、注水補助位置（①の右側1歩後方）にいたり、ホースを持って注水補助姿勢をとる。</p> <p>4 番 員</p> <p>(1) ⑤の「操作始め」の号令で「よし」と合図し、右に向きを変え、かけ足の要領で発進し、吸管を右足でまたぎ、次いで吸口覆冠を外し、吸管のめす金具を両手で持ち、両足で吸管を挟み、吸管を吸口に結合し、「よし」と合図する。次いで両手両足を吸管から離し、左足を軸に右足で吸管をまたぎながらストレーナー方向に向きを変えて発進し、吸管中央部にいたり両手で吸管を持ち上げ「よし」と合図し、③と歩調を合わせて、左足から3歩で吸管投入に便利な位置まで進み③の投入合図の「よし」で右足を半歩前に踏み出し、静かに投入補助する。次いで吸管接地部をまたいでポンプ運転に便利な位置にいたる。</p> <p>(2) 送水準備 エンジンを始動し、吸水操作をした後（計器と放口が反対に位置しているものについては、操作に便利な位置に適宜移動しても良い。）、余裕ホースを配意し、火点に向かって姿勢を正し、放水開始の伝達を待つ。</p> <p>(3) 放水開始及び送水操作 ②の「放水始め」の伝達に右手を垂直に上げて「放水始め」と復唱し、右手を下ろした後、一方の手で放口コックを徐々に開き、同時に計器に配意しながら他方の手でスロットルバルブを操作し、送水を開始する。</p>

実施項目	実施要領
放水中止	<p data-bbox="400 286 564 331">指揮者</p> <p data-bbox="400 376 1461 495">合図係員の合図により①の方向に向きを変え「放水やめ」と号令し各隊員の操作状況を監視する。次いで①の「よし」の合図を確認した後、火点方向に向きを変えて、鎮圧状況を確認する。</p> <p data-bbox="400 539 564 584">1 番 員</p> <p data-bbox="400 629 1461 965">③の「放水やめ」の号令で基本注水姿勢からノズルを閉じ、「放水やめ」と復唱し、②が④に放水中止の伝達を終え注水部署に戻り「伝達終わり」の合図で右手を筒先から離さないように滑らせながらプレイパイプの中央付近へ移動し、筒先をしっかりと抱え、ノズルを徐々に開いた後、ノズルを下方に向けて排水し（下向きでノズルを全開にする。）合図係員の合図によりノズルを完全に閉じ、右手でノズルを握り「よし」と合図し、左足を右足に引きつけ、筒先を右足ぎわに立てて姿勢を正す。</p> <p data-bbox="400 1010 564 1055">2 番 員</p> <p data-bbox="400 1099 1461 1301">①の「放水やめ」の復唱で「よし」と合図して後ろに向きを変えホースの左側を通して伝令停止線内で④に相対して停止し、右手を横水平に上げて「放水やめ」と伝達し、④が「放水やめ」と復唱し右手を下ろした後、右手を下ろし回れ右をして右足を引きつけることなく発進し、注水補助位置に停止し、①に「伝達終わり」と合図する。</p> <p data-bbox="400 1346 564 1391">3 番 員</p> <p data-bbox="400 1435 1461 1503">①が排水操作を行い、「よし」の合図により、静かにホースを置き、右足を左足に引きつけ基本の姿勢をとる。</p> <p data-bbox="400 1547 564 1592">4 番 員</p> <p data-bbox="400 1637 1461 1749">②の「放水やめ」の伝達に右手を横水平に上げて「放水やめ」と復唱し、右手を下ろし、スロットルレバーを操作し、放口を閉じ、エンジンを停止して火点に向かって姿勢を正す。</p>

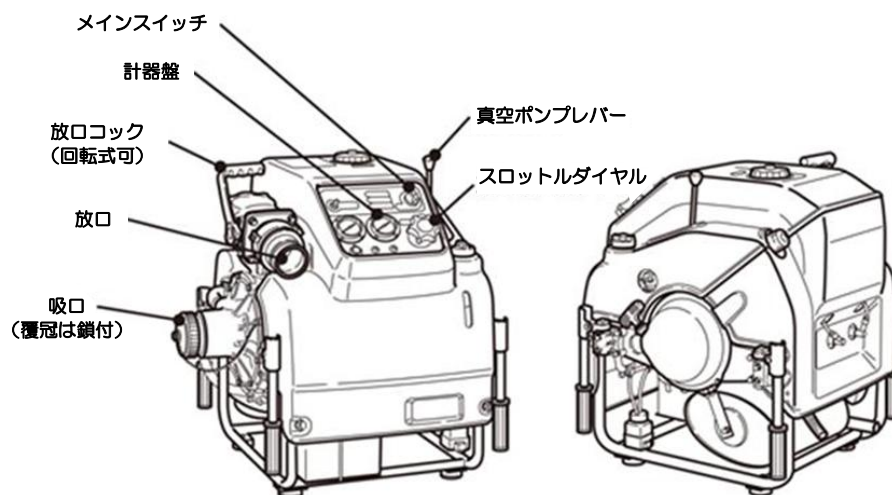
実施項目	実施要領
収 納	<p data-bbox="408 293 571 331">指 揮 者</p> <p data-bbox="408 376 1449 533">合図係員の合図により①の方向に向きを変え「おさめ」と号令し、①が筒先を離脱し、背負ったことを確認した後、待機指揮位置に向きを変え①とともに発進し、第2ホースをまたいで前進し、ポンプ方向を向き待機指揮位置で停止する。</p> <p data-bbox="408 584 571 622">1 番 員</p> <p data-bbox="408 667 1449 875">①の「おさめ」の号令に「よし」と呼唱し右足でホースをまたぎながら斜め右前方に大きく1歩踏み出し、左足で第3ホースのおす金具近くを押え両手で筒先を離脱し背負った後、ポンプ方向に発進し、待機位置で火点方向を向いて停止し、折り膝の姿勢で筒先を前方に置き、その場で待機する。</p> <p data-bbox="408 927 571 965">2 番 員</p> <p data-bbox="408 1010 1449 1128">②の「おさめ」の号令に「よし」と呼唱し回れ右をして右足を引きつけることなく発進し、ポンプ後方の吸管接地部をまたぎ待機位置に集まる。</p> <p data-bbox="408 1180 571 1218">3 番 員</p> <p data-bbox="408 1263 1449 1382">③の「おさめ」の号令に「よし」と呼唱し回れ右をして右足を引きつけることなく発進し、ポンプ後方の吸管接地部をまたぎ待機位置に集まる。</p> <p data-bbox="408 1433 571 1471">4 番 員</p> <p data-bbox="408 1516 1449 1599">④の「おさめ」の号令に「よし」と呼唱し、ポンプ後方の吸管接地部をまたぎ待機位置に集まる。</p>

実施項目	実施要領
身体・服装 の確認	<p data-bbox="403 293 568 331">指揮者</p> <p data-bbox="403 383 1449 456">待機指揮位置に停止した段階で、自己の負傷の有無及び服装の乱れを素早く確認し整える。</p> <p data-bbox="403 501 568 539">各隊員</p> <p data-bbox="403 591 1449 665">待機位置に集まった順に、各自で負傷の有無及び服装の乱れを素早く確認し整え、それぞれ自主整とんし基本の姿勢で待つ。</p>
点呼	<p data-bbox="403 739 568 777">指揮者</p> <p data-bbox="435 824 1382 862">各隊員が待機位置に整列したことを確認し、「番号」と号令する。</p> <p data-bbox="403 907 568 945">各隊員</p> <p data-bbox="435 992 1302 1030">①の「番号」の号令で①から順次、各自の番号を呼唱する。</p>
終了報告	<p data-bbox="403 1097 568 1135">指揮者</p> <p data-bbox="403 1182 1449 1301">待機指揮位置で回れ右を行い、報告受領者に挙手注目の敬礼を行った後、「〇〇消防団、女性ポンプ操法を終了しました。」と報告し、挙手注目の敬礼を行った後、回れ右をし各隊員に対して相對する。</p> <p data-bbox="403 1346 568 1384">各隊員</p> <p data-bbox="435 1431 979 1469">①の終了報告中は基本の姿勢で待つ。</p>
解散	<p data-bbox="403 1601 568 1639">指揮者</p> <p data-bbox="435 1686 1350 1724">各隊員に対し「わかれ」と号令し、各隊員に答礼し解散させる。</p> <p data-bbox="403 1769 568 1807">各隊員</p> <p data-bbox="403 1854 1449 1928">①の「わかれ」の号令により、一斉に①に相對し挙手注目の敬礼を行い解散する。</p>

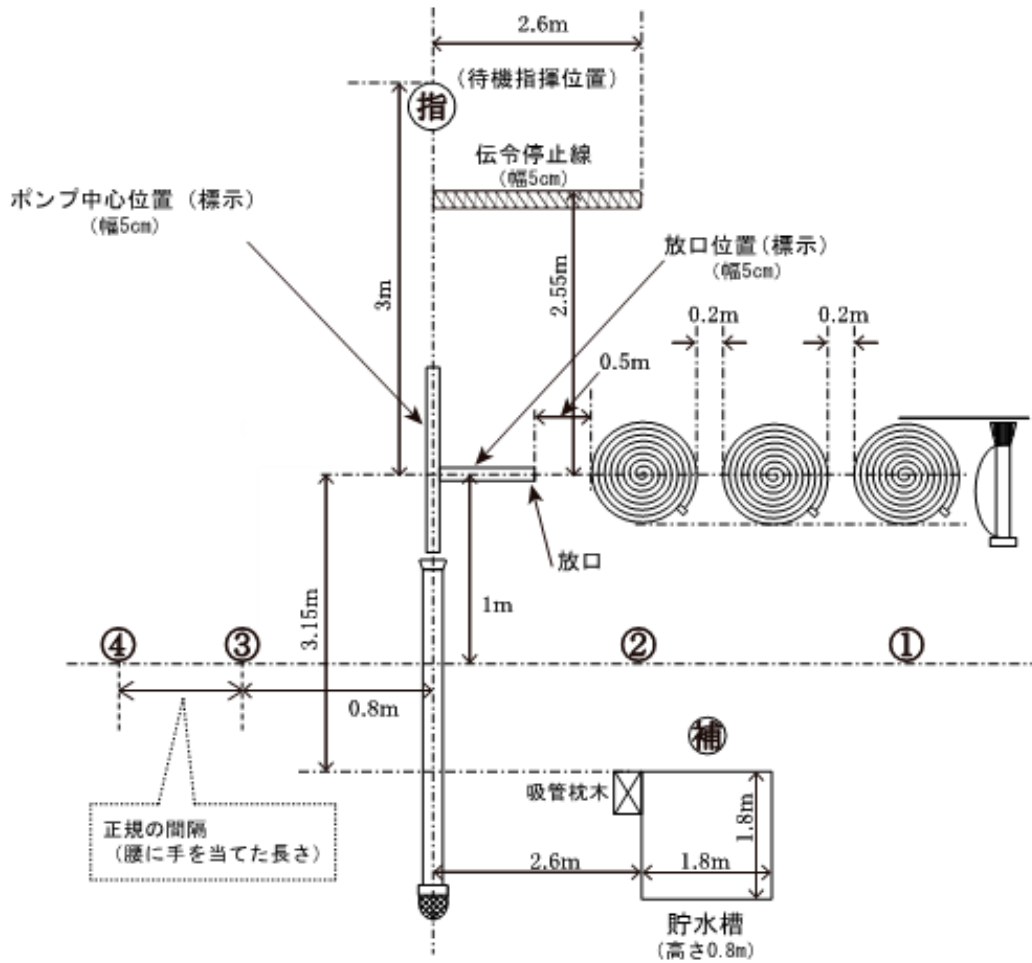
10 機械器具説明図

使用器具
消防用ホース 3本 呼称：φ50 長さ：20m以上（金具部分を除く布部分の長さ） 使用圧：1.3 MPa以上
放口 呼称：φ50（φ65×φ50 媒介金具使用）
吸管 1本 呼称：φ75 長さ：6m以上
筒先（23型以下の噴霧ノズル付） 1本 プレイパイプの長さは60cm以上のもの
吸管ひかえ綱 1本 太さ：10mm 長さ：8m以上
吸管枕木（呼称φ75 吸管用） 1個

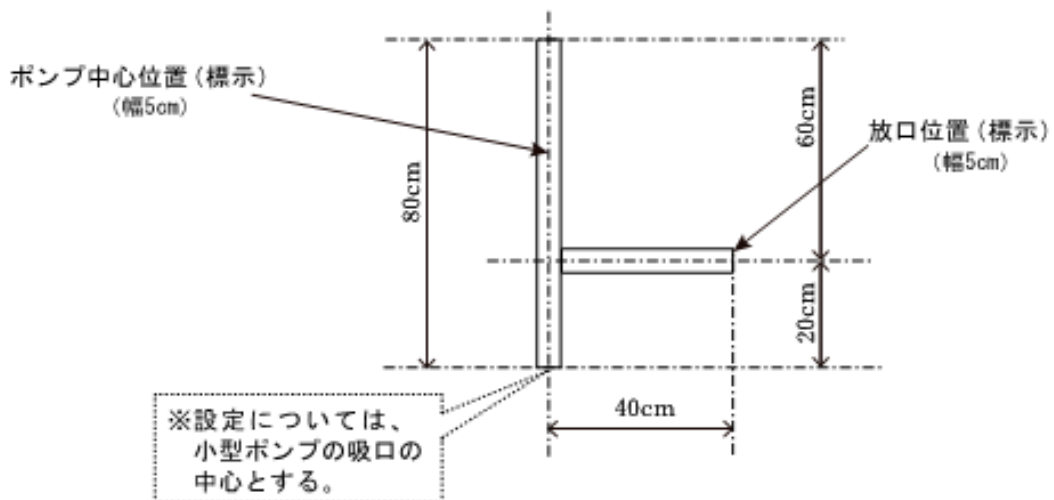
小型ポンプ各部の名称



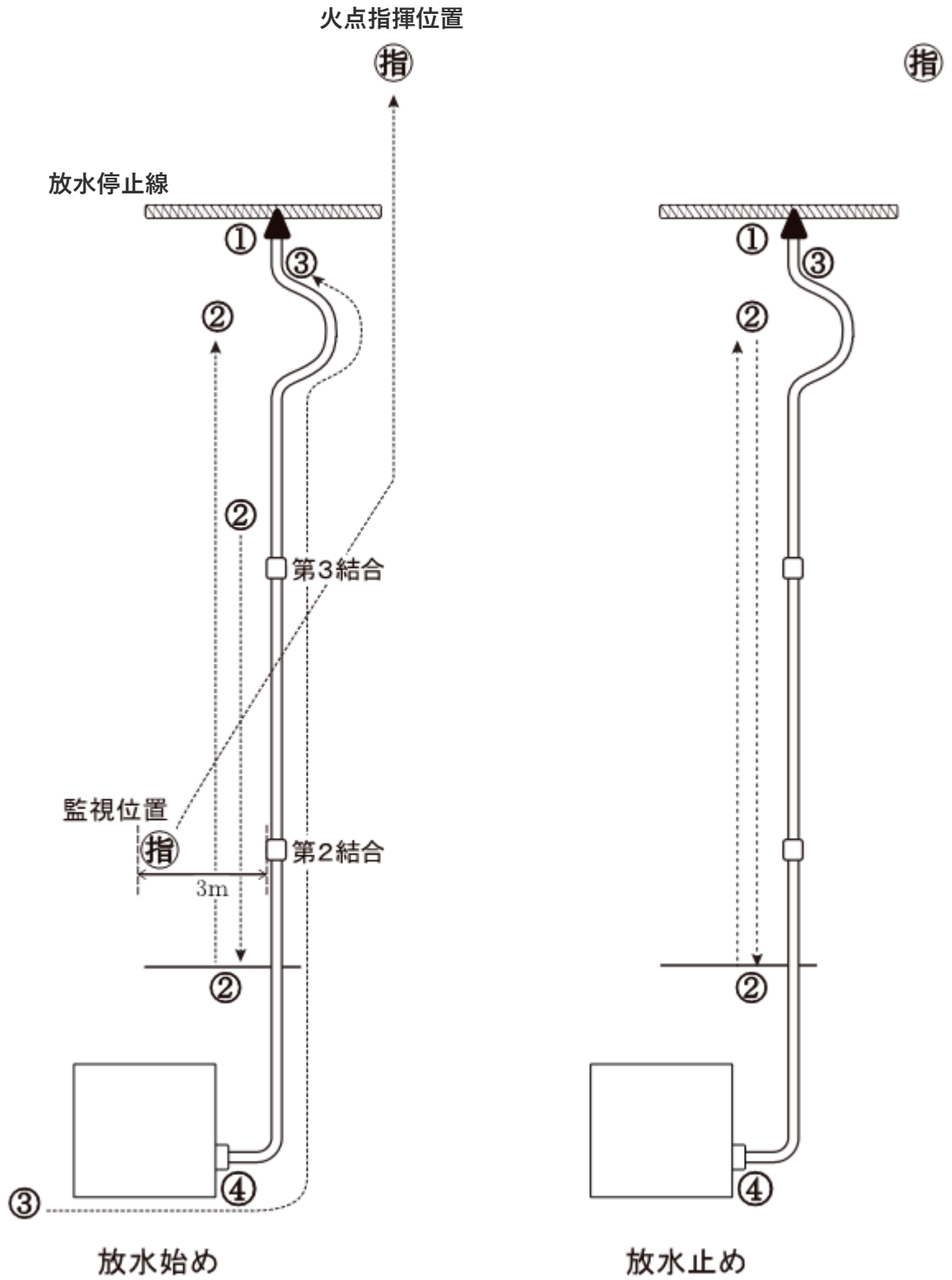
11 ポンプ・水利・待機位置等



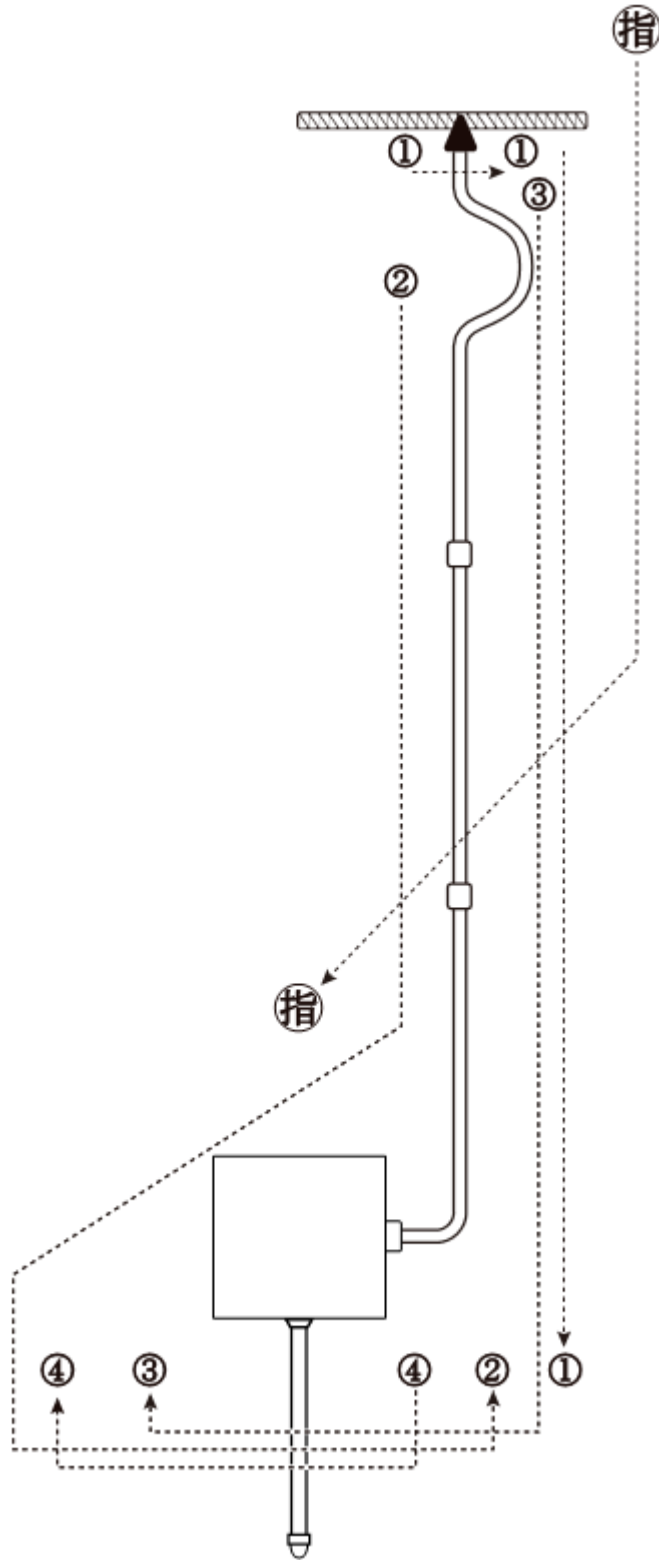
小型ポンプ位置標示



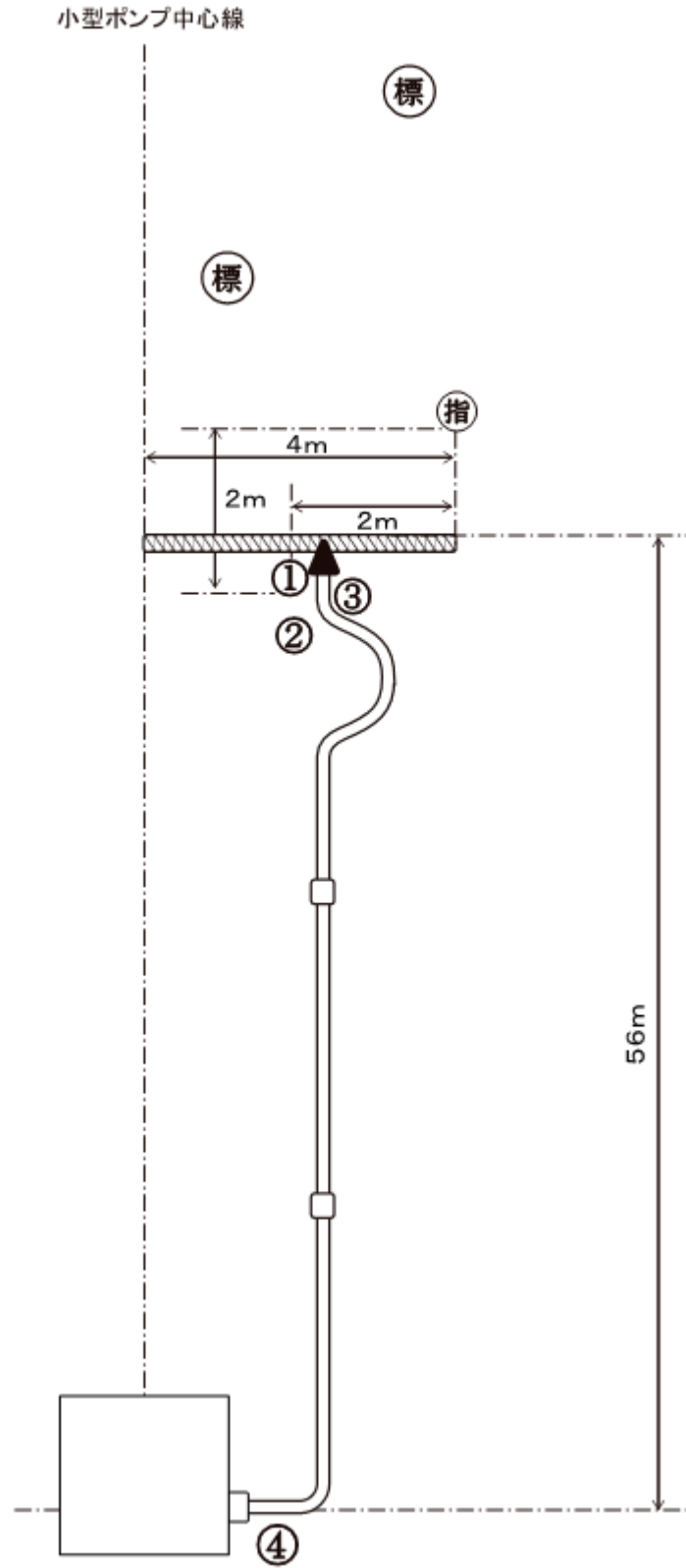
12 放水実施動線等



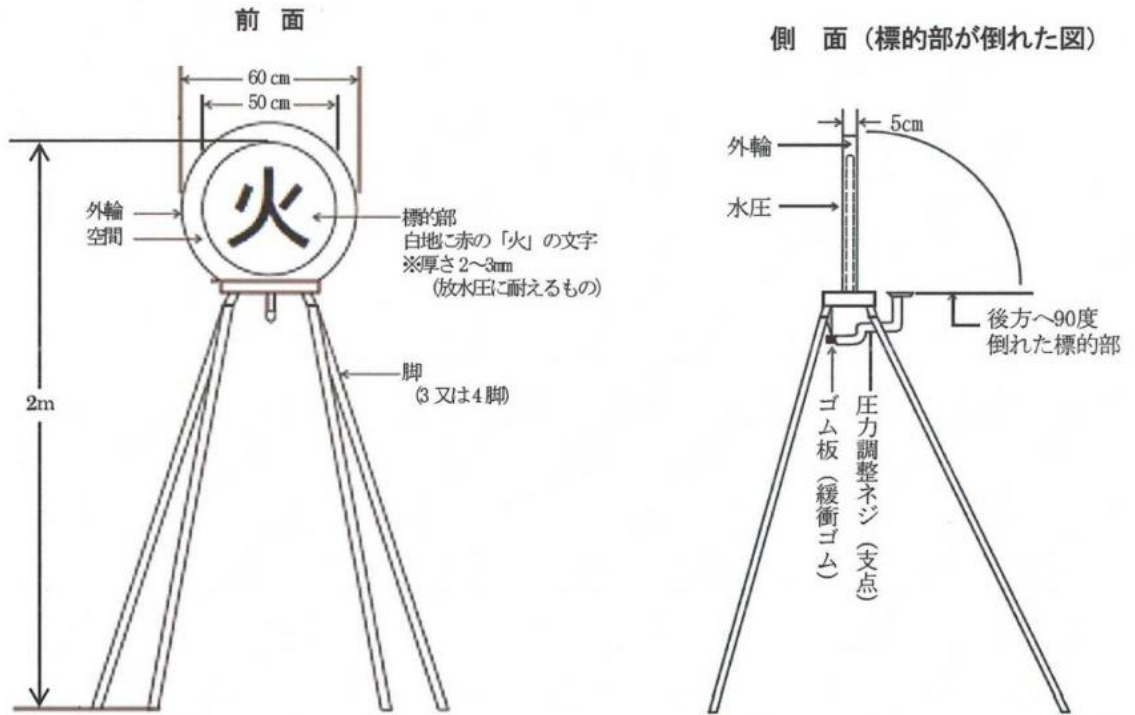
13 収納経路図



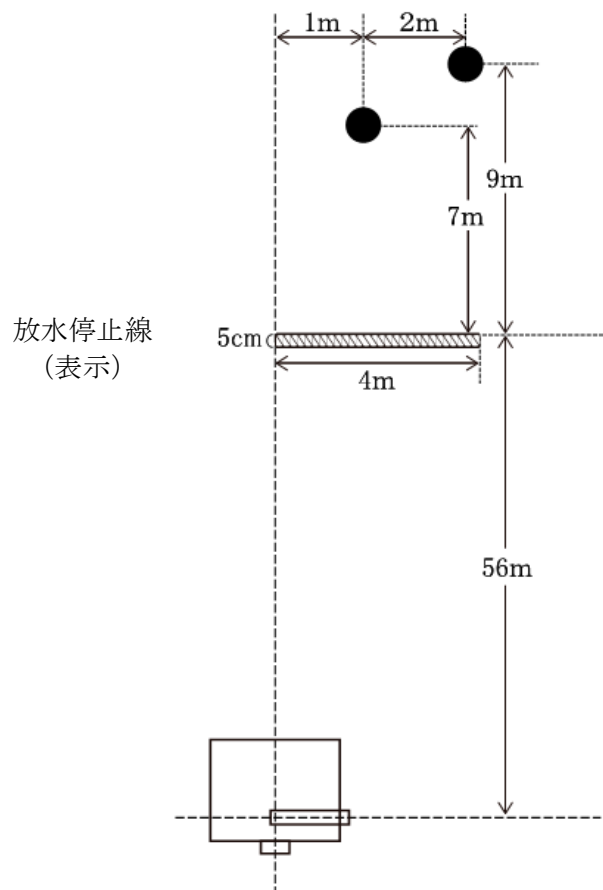
14 延長体系図



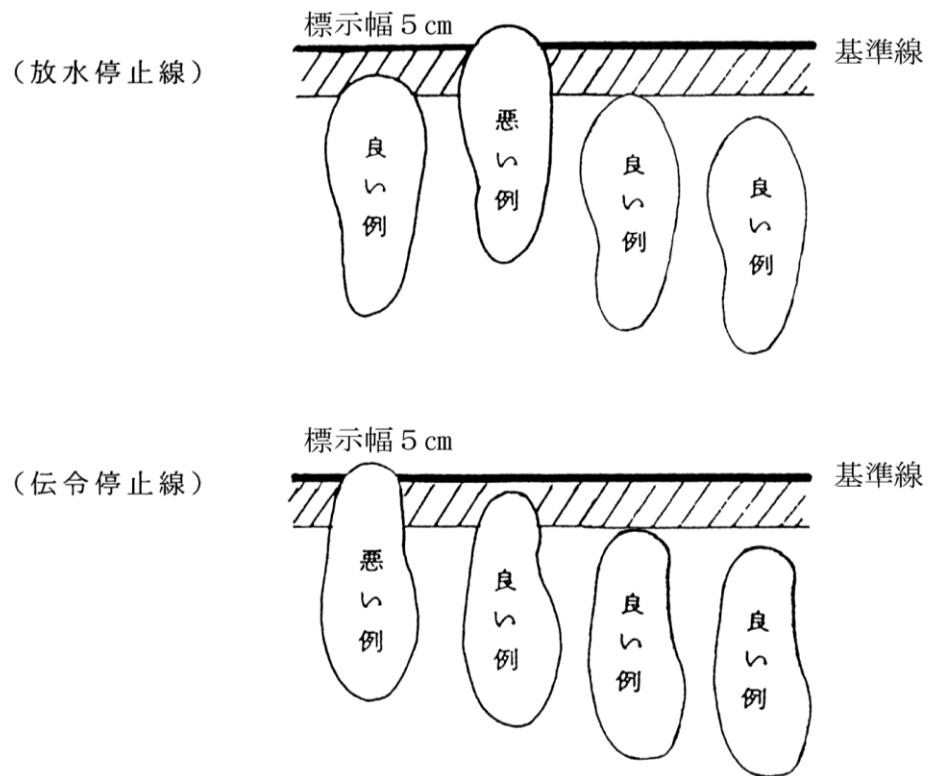
別図1 有効放水測定装置付標的



別図2 標的設置位置



別図3 放水停止線・伝令停止線の足の位置の例示図



女性消防操法審査要領

女性消防操法審査要領

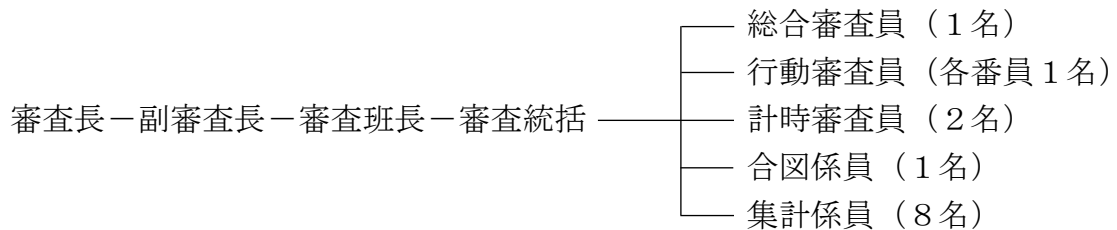
1 この要領は、第54回東京都消防操法大会女性消防操法の審査について必要な事項を定める。

2 審査員の構成

- (1) 審査長（東京消防庁消防学校長）
- (2) 副審査長（東京消防庁消防学校副校長）
- (3) 審査班長（東京消防庁消防学校校務課教務係長）
- (4) 審査統括（東京消防庁消防学校校務課係長）
- (5) 審査員

- ア 東京消防庁消防学校職員
- イ 審査長が指定する消防職員

3 審査班の編成



4 審査の範囲

審査の範囲は、指揮者の「操作始め」の号令から、「わかれ」により解散するまでの間とする。

5 審査の要点

消防操法の基準（昭和47年5月11日消防庁告示第2号）によるほか、別に定める「第54回東京都消防操法大会女性消防操法実施要領」に基づき各隊員の操作要領、行動、動作全般及びホース延長並びに有効放水所要時間について審査し、要点は次のとおりとする。

- (1) 士気、規律
- (2) 迅速な行動、動作
- (3) 確実な操作
- (4) 消防用機械器具の精通とその愛護
- (5) 各隊員の安全

6 審査の基準及び方法

採点方法は、各操作員の行動審査得点、計時審査得点及び総合審査得点を加算する方式とする。

(1) 行動審査の採点方法

各操作員に10点を配分し、持点から減点した残りの点数を得点とし、操作員5人の合計点数を得点とする。

(2) 計時審査の採点方法

指揮者の「操作始め」の号令の「め」から、審査員が2個目の標的による有効

放水と認めた時点までの所要時間を計時し、60秒台を20点、それより時間を超えた場合、持点から1秒につき1点減点とする。

なお、60秒より速い場合は1秒につき1点加算し、最大5秒5点までを得点とする。

(3) 総合審査の採点方法

士気・規律、敏捷性、確実性、器具整備取扱及び安全性の5項目に各5点を配分し、5段階評価した5項目の合計点数をその隊の総合評価点とする。

7 操法進行の合図

(1) 操法開始合図

待機指揮位置にいる指揮者の延長線上で、合図係員が口頭により直接開始の意思確認を行い、準備がよければ『白旗を正面水平から真上』に振り「操法開始」と合図する。

(2) 放水中止合図

標的による有効放水後に合図係員が『赤旗を正面水平から真下』に振り「放水中止」と合図する。

(3) 排水やめ合図

①がノズルを開放し下に向けた後、速やかに合図係員が①の概ね前方にいたり『赤旗を正面斜め前方』に振り「排水やめ」と合図する。

(4) 収納合図

排水操作後に合図係員が指揮者の延長線上にいたり「収納」と合図する。

8 順位の決定

(1) 行動審査得点、計時審査得点及び総合審査得点を加算し、総得点の大なるものを優位とする。

(2) (1)の総得点と同じ場合は、計時審査の所要時間（100分の1秒まで計時）の速いものを優位とする。

(3) (1)及び(2)の得点と同じ場合は、出場隊員の平均年齢（小数点第1位四捨五入）が高いものを優位とする。

(4) (1)から(3)までの方法によっても順位が決定しない場合は、大会運営委員会にはかり、審査長が優位を決定する。

9 操法中止

操法の実施中、隊員等に不測の事故等が発生し、操法の続行が不可能と認められる場合は、事故発生から90秒を経過した時点で審査長の判断により、操法中止を命令し待機位置に集める。

10 異議の申し立て

審査の結果等については、一切異議の申し立てをすることはできない。

総合審査

出場隊	消防団		
回目	コース	審査員	
	項目	持点数	得点数
1	士 気 ・ 規 律	5	
2	敏 捷 性	5	
3	確 実 性	5	
4	器 具 整 備 取 扱	5	
5	安 全 性	5	
	得 点 合 計	25	

行動審査

	操作員	持点数	減点数	得点数
1	指揮者	10		
2	1番員	10		
3	2番員	10		
4	3番員	10		
5	4番員	10		
	得点合計	50		

<u>指揮者</u>		出場隊	消防団	
		回 目	コース	審査員

審査項目	減点事項	減点数		審査項目	減点事項	減点数	
第 1 線 延 長	操法開始の号令不適	1		服 装 点 検	服 装 点 検 不 適	1	
	監 視 位 置 不 適	1		点 呼	点 呼 の 号 令 不 適	2	
	監 視 不 適	1		報 告	終 了 報 告 不 適	1	
	火点指揮位置不適	1		解 散	解 散 時 の 号 令 不 適	1	
	火点状況監視不適	1		全 般	士 気	1	
放水中止	放水中止の号令不適	1			規 律	1	
	操作状況監視不適	1			転 倒	2	
	鎮圧状況確認不適	1			分 担 外 操 作	2	
収 納	収 納 号 令 不 適	1					
減 点 合 計							

持 点	減 点	得 点
1 0		

1 番 員

出場隊	消防団		
回 目	コース	審査員	

審査項目	減点事項	減点数	審査項目	減点事項	減点数
第 1 線 延 長	操法開始の号令前に操作	2	収 納	筒先離脱不適	1
	「よし」呼唱脱落	1		筒先搬送不適	1
	ホース搬送不適	1		筒先収納不適	1
	筒先搬送不適	1		待機位置状況不適	1
	第3ホース展張不適	1	服装点検	服装点検不適	1
	筒先結合不適	1	点 呼	番号脱落	1
	基本注水姿勢不適	2	全 般	士 気	1
	②の第3ホース結合前に移動	1		規 律	1
	放水開始の合図不適	2		転 倒	2
	余裕ホース不適	1		分担外操作	2
放水停止線無視	2	機材取扱い不適		2	
放水中止	ノズル操作不適	1			
	放水姿勢不適	1			
	中止の復唱不適	1			
	排水操作不適	1			

減 点 合 計

持 点	減 点	得 点
10		

2 番 員

出場隊	消防団		
回 目	コース	審査員	

審査項目	減点事項	減点数	審査項目	減点事項	減点数	
第 1 線 延 長	操法開始の号令前に操作	2	放水中止	放水停止の合図不適	1	
	「よし」呼唱脱落	1		伝達経路不適	1	
	第1ホース展張不適	1		伝達位置不適	1	
	余裕ホース不適	2		伝達要領不適	1	
	放口結合不適	1		伝達終了合図不適	1	
	ホース搬送不適	1	収 納	待機位置状況不適	1	
	第2ホース展張不適	1	服装点検	服装点検不適	1	
	第1・第2ホース結合不適	1	点 呼	番 号 脱 落	1	
	第2・第3ホース結合不適	1	全 般	士	気	1
	放水開始の復唱不適	1		規	律	1
	伝達経路不適	1		転	倒	2
	伝達位置不適	1		分 担 外 操 作		2
	伝達要領不適	1		機材取扱い不適		2
	伝達終了合図不適	1				
	注水補助不適	1				
減 点 合 計						

持 点	減 点	得 点
1 0		

3 番 員

出場隊	消防団		
回 目	コース	審査員	

審査項目	減 点 事 項	減点数	審査項目	減 点 事 項	減点数
第 1 線 延 長	操法開始の号令前に操作	2	全 般	服 装 点 検 不 適	1
	「よし」呼唱脱落	1		点 呼 番 号 脱 落	1
	吸 管 結 合 補 助 不 適	1		士 気	1
	吸 管 伸 長 不 適	1		規 律	1
	吸 管 投 入 不 適	2		転 倒	2
	吸管ひかえ綱結着不適	1		分 担 外 操 作	2
	注 水 補 助 不 適	1		機 材 取 扱 い 不 適	2
放水中止	注水補助完了状況不適	1			
収 納	待機位置状況不適	1			
減 点 合 計					

持点	減点	得点
10		

4 番 員

出場隊	消防団		
回 目	コース	審査員	

審査項目	減点事項	減点数	審査項目	減点事項	減点数
第 1 線 延 長	操法開始の号令前に操作	2	放水中止	放水中止の受達不適	1
	「よし」呼唱脱落	1		ポンプ停止不適	1
	吸管結合不適	1	収 納	待機位置状況不適	1
	吸管搬送合図不適	1	服 装 点 検	服 装 点 検 不 適	1
	吸管投入補助不適	1	点 呼	番 号 脱 落	1
	揚 水 不 能	5	全 般	士 気	1
	余 裕 ホ ー ス 不 適	1		規 律	1
	予 備 送 水	1		転 倒	2
	放水開始の受達不適	1		分 担 外 操 作	2
	送 水 圧 力 不 適	5		機 材 取 扱 い 不 適	2
減 点 合 計					

持 点	減 点	得 点
10		

<u>計 時 審 査</u>	出場隊		消防団	
	回 目	コ ー ス	審 査 員	
計 測 員				
計 時 記 録				
1	秒			
2	秒			

※ 計測は、1/100 秒（小数点第 2 位）までとし、計時記録 2 者のうち中間値のものを決定タイムとするものとする。

決 定 タ イ ム	秒
--------------	---

換算点	点
-----	---

得点換算表

秒 数	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67
得 点	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13

秒 数	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
得 点	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0